

## 学位論文審査基準（博士前期・修士）

1	科学論文として適切であること	学位論文審査会にて、下記の審査基準(2～5)に照らし、科学論文として適切であり、修士の学位に相応しいことを総合的に審理する。
2	明確な研究目的が記載されていること	国内外の研究業績を引用し、研究目的および学術的意義が記載されていることを審理する。
3	研究対象および方法が適切に記載され、倫理的配慮がなされていること	研究対象と方法が適切に記載されているか審理する。研究の際には鳥取大学の定めている実験規則や研究倫理に関する法令等を遵守しているかを審理する。
4	研究結果が適切に記載されていること	研究結果を図表等を用いて取り纏め、適切に記載されていることを審理する。
5	結論が論理的に導き出され、記載されていること	これまでの研究成果等を勘案し、当該研究結果から論理的な結論が導かれていることを審理する。

## 学位論文審査基準（博士・博士後期）

1	科学論文として適切であること	本研究科の学位論文審査会で、下記の審査基準(2～6)をもって博士の学位に相応しい論文であるかどうかを審理する。
2	過去の学術的背景をもとに研究の目的が明確に述べられていること	研究に関連する国内外の過去の業績を引用しながら、研究の目的や意義が明確に述べられているかを審理する。
3	研究目的を達成するための研究対象と方法が正確かつ簡潔に述べられており、研究を行う際の倫理的な配慮がなされていること	研究対象と方法が適切に記載されており、研究の際には鳥取大学の定めている実験規則や研究倫理に関する諸法令に従って行われているかどうかを審理する。
4	新たに得られた研究結果が明確に分かりやすく明示されていること	新たな知見が得られているかどうかを審理する。得られた結果を簡潔に本文中で説明するとともに、図や表とそのlegend(説明文)が適切に記載されていることを審理する。
5	結果から導かれる結論が過去の学術的背景をもとに論理的に考察されていること	研究の結果を客観的に分析して得られる結論をその意義や将来の展望も含めて簡潔に述べているかどうかを審理する。過去の文献を適宜引用しながら考察されているかどうかを審理する。
6	学術的貢献が顕著であること	査読付き学術誌に受理された論文であること。